

- 琴浦町では農家の高齢化や担い手の減少により、ナシの廃園や遊休農地が増加中（**平成25年2月現在、53.6haの遊休農地**）。
- 平成21年、同町農業委員はナシなどに比べて栽培の手間がかからない品目として、「大粒、おいしい、皮がむきやすい」という特徴を持った**クリの新品種「ぽろたん」**に注目した。
- 現在、「**琴浦ぽろたん研究会**」を中心として、栽培支援だけでなく、知名度アップ対策、加工品を取り扱う企業への情報提供等、販路拡大を進めている。

具体的な成果

- クリ新品種（「ぽろたん」「美玖里」）が**約2000本導入**
- 耕作放棄地が約**5ha**解消
- 68名が栽培に参加
- ぽろたん祭り**を開催支援



初心者向け栽培講習会の様子



先進産地への視察研修の様子

普及員の活動

【平成23年～】

- 栽培情報を作成**し、新規栽培者を対象とした指導情報の配布と**栽培指導会の実施**。

【平成23年12月】

- 琴浦ぽろたん研究会（事務局 琴浦町農業委員会）**の中で役割分担する体制とした。

【平成25年～】

- 栽培技術の実証ほを設置**し、栽培に関する**基礎資料づくりや防除対策を検討中**。

【平成25年～】

- ぽろたん祭り**で消費者、町民を対象とした**知名度アップを図った**。

普及員だからできたこと

1. **初心者向けの栽培指導**を基本として栽培情報や指導会をJA等と連携して行えた。
2. **先進地の栽培情報収集や防除対策などを関係機関と連携**し、研究会、JA、生産者に情報伝達を行った。